

令和5年(2023年)度の全国大会を、10月21日から23日まで、武庫川女子大学との共催により、下記の要領にて開催いたします。皆さまの積極的なご参加をお願い申し上げます。

日時

令和5年10月21日(土)

午後1時30分(会場午後1時)より午後5時まで

会場

武庫川女子大学 マルチメディア館メディアホール
(阪神本線鳴尾・武庫川女子大前駅下車徒歩七分)

学会挨拶

学会代表・東京大学大学院教授 鉄野 昌弘 氏

会場校挨拶

武庫川女子大学大学院日本語日本文学専攻長 寺島 修一 氏

講演

可能・自発の広がり —『万葉集』を起点として—

武庫川女子大学非常勤講師 吉井 健 氏

講演

木簡と万葉集

大阪大学文学部教授 市 大樹 氏

※公開講演会終了後「萬葉学会奨励賞授賞式」「第三回総会」を行います。

第76回萬葉学会全国大会

公開講演会

対面式

聴講無料
事前申込制

研究発表会

日時 10月22日(日)

会場 武庫川女子大学
公江記念館地下大講義室

午前の部 (午前10時より)

『萬葉集』における音仮名と訓仮名

—訓字との両用とその影響をめぐって—
日本学術振興会特別研究員 古川大悟 氏

上代特殊仮名遣いをめぐる

仮名の「表語性」

実践女子大学助教 軽部利恵 氏

午後の部 (午後0時45分より)

卜部兼永筆『先代旧事本紀』における
改行・字下げの様相

—三貴子は二度産まれたか—

桃山学院大学講師 星 愛美 氏

倭建命譚

—出雲健討伐の場面をめぐって—

熊本県立大学講師 岩田芳子 氏

神武紀述作論

—区分論的位置付けと

『漢書』高帝紀の利用—

東京大学大学院博士課程 木下優友 氏

神武紀「天神子亦多耳」の意義

—日本書紀における神代紀本書と

一書の位置づけ—

筑波大学准教授 葛西太一 氏

※聴講ご希望の方は、末尾のQRコードを使ってお申し込みください。定員に達ししだい締め切ります。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の流行状況、及び悪天候や災害発生等により、開催を中止、或いは一部オンライン形式等に変更する場合があります。その場合は、萬葉学会HP「お知らせ」欄に掲示しますので、事前にご確認ください。

